

NEWS RELEASE

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

小型・軽量の標準ズームレンズ“RF24-105mm F4-7.1 IS STM”を発売 大口径・ショートバックフォーカスにより優れた携帯性と高画質を両立

キヤノンは、「EOS R システム」の核となる交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、小型・軽量と高画質を両立した標準ズームレンズ“RF24-105mm F4-7.1 IS STM”を4月中旬に発売します。



RF24-105mm F4-7.1 IS STM

“RF24-105mm F4-7.1 IS STM”は、フルサイズ CMOS センサー搭載のミラーレスカメラで、高画質な写真や映像の撮影を楽しみたいと考えるハイアマチュアユーザーやエントリーユーザーに向けて開発した「EOS R システム」の標準ズームレンズです。小型・軽量設計による優れた携帯性と広角 24mm から望遠 105mm までの幅広い焦点距離により、スナップやポートレート、風景など多彩なシーンに対応します。

■ 本格的な写真・映像表現を身近にする優れた携帯性と高画質の両立

「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカス^{※1}を生かし、レンズ群の後端（カメラ側）に大きなレンズを配置する光学設計となっています。これにより、全長約 88.8mm で本体質量約 395g の小型・軽量を実現しています。また、広角 24mm から望遠 105mm のズーム全域で画面の中心部から周辺部まで高画質に写真や映像を撮影することができます。

■ ステッピングモーターと手ブレ補正機構の搭載による快適な撮影

リードスクリュータイプのステッピングモーター（STM）を採用しています。「EOS R システム」のミラーレスカメラに搭載している「デュアルピクセル CMOS AF」との組み合わせにより、静止画撮影時は高速・高精度な AF を、動画撮影時は被写体の動きに合わせた滑らかな AF を実現しています。さらに、シャッター速度換算で約 5 段分^{※2}の高い手ブレ補正効果を実現し、薄暗い室内や夜景など手ブレが発生しやすいシーンでも快適な撮影が可能です。

■ 表現の幅を広げる「Center Focus Macro」機能

フォーカス群を含む後方のレンズ構成の適正化により、AF 撮影時に最短撮影距離 0.2m を実現しています。さらに、MF 撮影時には最短撮影距離 0.13m となり、レンズ先端から約 2.5cm まで近づいて撮影することができる「Center Focus Macro」機能が使用でき、表現の幅が広がります。

製品名	希望小売価格	発売日
RF24-105mm F4-7.1 IS STM	オープン価格	2020年4月中旬

※1 最後部のレンズ面の頂点から撮像面までの光軸上の距離が短いこと。

※2 焦点距離 105mm、「EOS R」使用時。CIPA 規格に準拠。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター

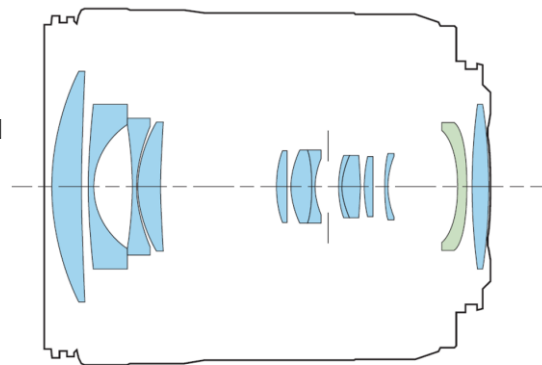
050-555-90002

● E O S ホ ー ム ペ ー ジ : canon.jp/eos

<主な特長>

1. 本格的な写真・映像表現を身近にする優れた携帯性と高画質の両立

- ・「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカスを生かした小型・軽量設計により、全長約 88.8mm で質量約 395g の優れた携帯性を実現。「EF24-105mm F3.5-5.6 IS STM」(2014年11月発売)と比較して、全長約 15%の短縮化と質量約 25%の軽量化を達成*。
- ・カメラ側の撮像面近くに大口径レンズを配置。「非球面レンズ」1枚を含む 11 群 13 枚の光学設計により、焦点距離 24-105mm のズーム全域で、画面の中心部から周辺部まで高画質を実現。風景、ポートレート、スナップなど幅広いシーンで高画質な写真・映像表現が可能。
- ・レンズ形状とコーティングの適正化により、画質劣化の原因となるゴーストやフレアを低減。



● 非球面レンズ

「RF24-105mm F4-7.1 IS STM」光学構成図

* 「EF24-105mm F3.5-5.6 IS STM」は、全長約 104mm・質量約 525g。

2. ステッピングモーターと手ブレ補正機構の搭載による快適な撮影

- ・リードスクリュータイプのステッピングモーター (STM) によって駆動するリアフォーカス方式を採用。
- ・マイクロプロセッサによるアクチュエーター制御と「EOS R システム」のミラーレスカメラに搭載している「デュアルピクセル CMOS AF」との組み合わせにより、静止画撮影時における高速・高精度な AF を実現。また、動画撮影時は、被写体の動きに合わせた滑らかな AF が可能。
- ・マイクロプロセッサによるレンズ制御とカメラと協調して高精度にブレを低減する「デュアルセンシング IS」により、シャッタースピード換算で約 5 段分の高い手ブレ補正効果を実現。また、動画撮影時は、カメラと協調する「コンビネーション IS」により、手ブレを低減。

3. 表現の幅を広げる「Center Focus Macro」機能

- ・レンズ内部の後方のレンズ群を移動させてピント合わせを行うリアフォーカス方式を採用。フォーカス群を含む後方のレンズ構成を見直すことで、AF 撮影時に最短撮影距離 0.2m と最大撮影倍率 0.4 倍を実現し、テーブルフォトなどで被写体に近づいた迫力ある撮影が可能。
- ・MF 撮影時は「Center Focus Macro」機能により、最短撮影距離 0.13m と最大撮影倍率 0.5 倍を実現。レンズ先端から最短約 2.5cm まで被写体に近づき、遠近感のある、周辺が流れるような描写を楽しむことが可能。



「Center Focus Macro」機能使用時の作例



レンズ先端から最短約 2.5cm のマクロ撮影

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。